

エピペン取り扱いについての申し合わせ

**エピペンの管理運用におけるポイント**

**職員全員が**

- エピペンの保管場所を知っておくこと → (職員会で周知・確認)
- エピペンの接種するタイミングと方法を知っておくこと (必ず講習を受ける)
- エピペンや緊急時の対応に必要な書類一式の保管場所を知っておくこと

**1. エピペンの受け取りについて(エピペン管理票に記入・印鑑はシャチハタは不可)**

- 誰が.....①園長 ②副園長 ③担任 ④担当
- いつ.....朝、登園時
- どこで.....事務室
- どんな形態で.....家庭から袋に入れて持参(記名をお願いする)

**2. 受け渡し(エピペン管理票に記入)**

- 誰が.....①園長 ②副園長 ③担任 ④担当
- いつ.....降園時
- どこで.....事務室
- ※エピペンを渡し忘れた場合は取りに来てもらう

**3. 保管場所**

- 保管上の注意事項.....15～30℃に保つ(温度計で確認)
  - エアコンの当たるところには置かない
  - 夏場など保冷剤を使用するときは直接触れないようにする
  - 中の液体が濁っていたら、使用不可
  - 他のものに触れることがないように、ケースに入れて保管
- 保管場所の決定.....劇薬のため、鍵のかかるところでの保管が望ましいが、対応が遅れることがないように注意
  - ( ).....エピペンと表記
- エピペンの使用方法を貼る(保管場所、保育室)
- 一般向けエピペンの対応(日本小児アレルギー学会)を貼る(保管場所、保育室)
- 緊急時の連絡先を保管場所とAED保管庫に貼る(保護者了解の下)

**4. 注意事項**

- 1)子どもの手が届かないように
- 2)取り扱い注意(劇薬)
- 3)職員全員に周知
- 4)落とした場合はすぐに保護者(父母のどちらかを決定)に連絡

## 5. 園内での連携体制の周知(ショック症状が現れた場合)

緊急対応の役割分担

園長不在  
副園長不在  
担任不在  
担当不在

…対応方法を把握する  
※食物アレルギー アナフィラキシー発症時の対応参照

## 6. 関係機関への周知

消防署( ) } 訪問し説明をする(必要なら保護者も同伴する)  
園医 ( ) }

保育幼稚園課(課長、リーダー、保育園幼稚園調整担当、保育幼稚園課管理栄養士)

※緊急時対応で119番通報し救急車を呼ぶ場合に、周知しておいた方がよい園の  
近隣で必要なところ( )

※緊急時にすぐ持ち出せるよう個人情報をファイルにまとめておく  
(キャビネットの保管場所を決定する) → ○○○

※救急搬送の場合は、○○病院、または○○病院でお願いする(保護者と協議)

## エピペン所持児への対応

### 1. 食物アレルギーに関する調査書類

(保護者) ・生活管理指導表の提出

・投薬依頼書の記入

(園) ・食物アレルギー・アナフィラキシー発症時の対応作成

・エピペン取扱いについての申し合わせ(各園版)

・緊急時対応経過記録表準備

・個別の対応について作成

・保育幼稚園課に報告、コピーを送付

### 2. 保護者面談(園長・副園長)

※給食対応は園長(副園長)・調理員・管理栄養士・保護者と4者面談

### 3. 保護者と職員で話し合い…入園式前に

(保育園の場合は保護者と関係職員で話し合い全職員に周知)

### 4. エピペン講習

全職員、エピペン講習を受けるのが望ましいが、できない場合は講習を受講済みの職員が講師となって講習をする